

令和4年 第16回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和4年11月17日

仙北市教育委員会

令和4年 第16回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和4年11月17日(木) 午後2時30分

2 場 所 西木総合開発センター 2階 集会室

3 出席委員

教育長	須田 喬
教育長職務代理者	坂本 佐穂
委員	橋本 勲
委員	細川 伸也
委員	田口 桂一郎

4 出席した事務局職員

教育部長	藤村 幸子
教育次長兼角館公民館長	佐々木 信介
学校適正配置準備室長	若松 正輝
学校適正配置準備室参事	毛利 俊介
北浦教育文化研究所長	門脇 貴一郎
総合給食センター所長	草彅 直子
中央公民館長	高橋 良宣
田沢湖公民館長	大石 基
市民会館長	信田 昌史
田沢湖図書館長	真崎 智明
学習資料館・イベント交流館長	松橋 幸太郎
平福記念美術館長	小松 亜希子
平福記念美術館参事	高橋 百合子

5 議事

(1) 議案審議

議案第26号 令和4年度仙北市一般会計補正予算の教育費について

(2) 報告事項

報告第26号 仙北市教育行政報告について

報告第27号 仙北市冬期スクールバス運行管理規程の一部を改正する規程制定について

6 審議の経過及び結果

(須田教育長)

ただいまから、令和4年第16回仙北市教育委員会11月定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介いたします。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には齋藤課長補佐と上野課長補佐を任命します。署名員は、私と委員から坂本教育長職務代理者を指名します。前回会議録の承認についてですが、会議が終わりしだい橋本委員に署名をいただきたいと思います。

教育長挨拶ですけれども、私の方からは3点報告させていただきます。

1点目が、ヤマメ・サクラマス事業についてです。11月7日に、市の部長等で構成する政策調整会議で、このことについて来年度の新規事業として概要を説明させていただきました。概ね承諾いただきましたが、その中で子どもたちが子ども議会で市を活性化する事業について提案し、予算化を図る事業については、多くの部長から実現に向けての課題が指摘されました。これについては、市長から子どもの市政参加という点で非常に有効な策であり、是非、実現させたいという力強い発言がありました。今後もその実現に向けて市当局と粘り強く交渉していくつもりです。

また、この事業に関わり、11月10日に行われた中学校企業説明会について報告します。今まで中学校においては職場体験や職場訪問を行ってきたわけですが、企業説明会を実施したことはありませんでした。今回は、地域振興局と仙北市農林商工部と共催で神代中学校2年生を対象に実施しました。地元にも優れた企業等があること、また、働く人々の思いや願いを実際に聞くことをとおして、今後の生き方や自分の進路について考える契機にしてほしいと企画したものです。当日は12の企業等に賛同いただき説明してもらいました。生徒は12企業から4企業を選んで説明を受けましたが、皆、真剣に参加していました。閉会行事においては、地元これだけの企業があるとは知らなかったとか、都会に出て行くつもりであったが、少し地元企業についても考えたいとか、やりたい職業が決まっていたが、もう少し他の職業についても調べる必要があるとか、様々な意見が出ました。来年度は角館中学校を会場に最低20社は集めて市内中学校2年生を対象に実施したいと考えています。

2点目が、10月30日に行われた角館図書館後援会が主催した文化講演会についてです。この文化講演会は、これまでも日本の著名な方々を招いて角館町で講演会を開催していたのですが、今回は3年ぶりとなる開催でした。今年は、芥川賞作家である川上弘美先生を招いて「秋田の俳人 石井露月と安居浩司を読みつつ小説を書くことと俳句をつくることを考える」という題で講演いただきました。120名ほどの参加がありましたが、本当にすばらしいひとときでした。当日は、懇親会もあり、高井有一先生の奥様や塩野米松先生にも参加いただき、川上先生を囲んで地域の文学について語ることができました。松橋学習資料館館長をはじめとするスタッフには、川上先生との交渉等本当に難儀をかけました。

3点目が、市民会館の自主事業として行った「市民会館の活用を考えたらこんなことをやってみようと思った件」についてです。7月に行った際には300名ほどの参加でしたが、今回はそれを上回る400名ほどの参加がありました。ポスターは20枚程度しか貼ってありませんが、SNSやフェスブック等での案内でしたが、大盛況でした。eスポーツが子どもたちや若者にどれだけ普及しているか分かる試みでした。今後も継続してまちを盛り上げる事業にしていきたいと考えております。

最後になりますが、先ほど報告した川上先生を招いての文化講演会であったり、平福記念美術館の催し物であったり、新潮社記念文学館が今回企画した「坂本梅子 詩の世界展」なども含め、すべて市民や県民、仙北市を訪れる方々に対しての上質な文化の提供であります。市民会館や図書館、美術館は、民度の高さを示すバロメーターと考えます。費用対効果という点からはなかなか数字で評価するのは難しいのですが、厳しい財政状況にあっ

も、様々な工夫をして今後もその充実を図っていきたいと考えます。私からは以上です。

次に教育長の報告についてです。

－資料により説明－

ただいまの報告についてご質問等ございますか。よろしいでしょうか。

－質問なし－

それでは審議案件に入ります。議案審議、議案第26号令和4年度仙北市一般会計補正予算の教育費についてお願いします。

(藤村教育部長)

令和4年第8回仙北市議会定例会に提出予定の12月補正予算第9号について概要を説明します。教育総務課からは、歳出、職員給与費と障害者雇用対策事業費の人件費の補正となります。職員給与費は、人事異動と県の人事院勧告に伴う、給与の改定の増減となります。障害者雇用対策事業費は、会計年度任用職員の保険証が、地方公務員等共済組合法が10月1日から改正されたことに伴い、これまで全国健康保険協会の保険に加入していた会計年度任用職員が、共済組合の保険の対象となるケースがあるため、補正をするものです。以下の部署、事業におきましても、人件費の説明は同様となりますので割愛させていただきます。

次に4ページをご覧ください。学校教育課です。歳入17款1項3目と、歳出10款1項3目とも、若鮎応援プラン卒業祝金事業です。これは、寄附をもらっている草薨様より、当事業の支給を受けた、現在の高校1、2年生にも、進級祝い金を支給したいとの申し入れがありました。草薨様からはこのために、更なる38万円の寄附をいただき、追加支援に係る歳出の不足分を補正するものです。次に、歳出10款2項1目、小学校費の一般管理費です。次の5ページにかけて、電気料の値上げ分6,751,000円と、市バスで対応できない学校事業の貸切バス代の使用料の補正221,000円となります。次に、10款2項2目、小学校費の児童派遣費補助金は、角館小学校のマーチングが11月5、6日に東北大会に参加したときの大会派遣補助金の追加補正932,000円となります。次に、10款3項1目、中学校費の一般管理費では、電気料値上げ分2,018,000円となります。次に、8ページ、9ページをご覧ください。それぞれ学校評議員を1名増員したことによる追加の補正となります。以上です。

(草薨総合給食センター所長)

10ページになります。10款6項3目、給食センター管理運営費の光熱水費、電気料です。補正額3,935,000円。こちらは燃料調整単価値上げにより、補正をお願いします。同じく10款6項3目、給食材料費の賄材料費になりますが、食材の高騰が続く中で、年間5%くらいの食材の高騰を試算しました。不足分の3,967,350円と突発的な臨時休校により、キャンセルできなかった食材費の補填分として658,000円、合計4,626,000円をお願いします。以上です。

(高橋中央公民館長)

12ページです。生保内節盆踊り開催費補助金と、仙北市文化祭補助金につきましては、コロナウイルス感染症予防によりまして、中止となった部分がございます。文化祭につきましては、田沢湖と西木地区が中止となりまして、文化祭は角館地区のみの開催となりましたので、差し引くかたちで精査いたしました。以上です。

(信田市民会館長)

13ページになります。舞台運営費の委託料、955,000円を計上しております。内容といたしましては、1月から3月に見込まれる舞台技術者の委託料となります。以上です。

(須田教育長)

何かご質問、ご意見ございますか。

－質問、意見なし－

議案第26号については、承認といたします

それでは、報告第26号仙北市教育行政報告についてお願いします。

(藤村教育部長)

11月28日に開会予定の令和4年第8回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

学校教育課からは、大曲仙北教育研究会秋季大会についてです。10月27日に角館、生保内小・中学校において、それぞれの教科の研究大会が開催され、参加された教員からは、テーマに基づいた子どもの成長が見られたと評価を受けました。次に文化、芸術面等での児童・生徒の活躍についてです。小・中学生の税に関する習字、税についての作文が各書道展、コンクールで好成績を残しました。詳細は別紙にてご覧ください。次に秋田県中学校秋季大会についてです。11月5日に県立武道館で開催された全県中学校秋季剣道大会で、男子団体で角館中学校が第3位となりました。次に女子生徒の制服についてです。市内中学校5校で、制服について多様性への対応や防寒対策について検討委員会を立ち上げ、女子のスラックス採用という点で、来年度の4月からの実施を目指し検討しているところです。

次に北浦教育文化研究所からです。令和4年度仙北市教育研究会研究大会について、11月2日に、令和4年度仙北市教育研究会研究大会が開催され、市内全ての先生方がテーマに即した授業参観をとおして研修しあい、ベクトルがそろった充実した研究会となりました。この日は高橋大館市教育長様から講演をいただき、ふるさと教育とキャリア教育の重要性についてあらためて認識する機会となったところです。

次に学校適正配置準備室からです。将来の小・中学校のあり方に関わるアンケートの実施について、10月7日から26日にかけて、目指すべき教育の姿と学校のあり方に関する市民アンケートを実施し、将来の学校にどのような教育環境を望むのかを把握し、学校適正配置方針を今年度内に策定するものです。結果については、議会定例会の会期中に議員に報告するほか、市民には広報等でお知らせする予定です。

次に角館公民館からです。伝統芸能ミニフェス秋の陣について、11月5日、角館町武家屋敷内小野崎家にて、伝統芸能ミニフェス秋の陣を開催し、あいにくの雨でしたが、秋田民謡、秋田おぼこの手踊りなど、約80名の方々に紅葉の武家屋敷との共演を堪能してもらったところです。角館東公民館については、前回からご報告しておりますとおり、老朽化と耐震補強がなされていないことから、安全性の確保が優先されること、また、利用者が激減していることなどから、旧校舎、体育館施設の閉鎖を検討することにしました。現状、社会教育委員からも意見を聞かせていただいているところですが、今後、利用状況の精査、代替施設の要望や空き状況の確認などを始めているところです。

仙北市民会館からは、市民会館自主事業についてです。11月3日に開催されたイベントの紹介です。ホールでは地域おこし協力隊の岩見谷さんによるDJ体験教室や映画上映会、ロビーではeスポーツ体験やフリーマーケット、外ではキッチンカーなどで、若者を中心に400名程の来場がありました。引き続き市民会館の活用を考えたイベントを開催していきたいと考えています。

次に学習資料館・イベント交流館からは、展示会についてです。記載の表現を一部修正したいと思います。未来形で表現されておりますが、28日に報告する時点での表現といたします。6月1日から11月3日まで開催された「角館とアララギの歌人たち」

での期間中の入館者数は1,556人でした。11月15日から令和5年2月26日までの期間で、「坂本梅子 詩の世界展」を開催しています。坂本梅子は直木賞作家千葉治平の実の姉でもあり、秋田県女流詩人の一人でもあることから、ぜひご覧いただければと思います。

次に平福記念美術館からは、企画展「郷土作家が描くいきものたち」についてです。10月3日から11月13日までの期間で開催された平福徳庵・百穂父子をはじめ、郷土作家が描く「いきもの」をテーマにした企画展では、1,512人という多くの入館者に作品を観ていただくことができました。概要は以上となります。

(須田教育長)

この報告に、付け足してほしい点や質問等ございますか。

(坂本教育長職務代理者)

学校教育課の制服の件ですが、市内5校で検討委員会を立ち上げたとありますが、検討委員会のメンバーの構成は、どのような方たちでしょうか。

(門脇北浦教育文化研究所長)

学校によって違いはありますが、段階的に増えてくるといいますか、生徒ですと、生徒会役員、それから生徒全員で検討したことを、保護者に下ろしてPTAで話し合うという流れが一般的となっております。

(須田教育長)

その他ございますか。

－質問なし－

次に報告第27号仙北市冬期スクールバス運行管理規程の一部を改正する規程制定についてお願いします。

(藤村教育部長)

こちらの規程制定は、神代小学校が該当するわけですが、昨年度までは羽後交通に3路線を委託しておりましたが、今年9月に羽後交通から運転手がいなかったため、契約を受けることができないと辞退がありました。そこで大至急、他のバス会社やタクシー会社等をあたってお願いしたところ、ロイヤル観光と角館観光タクシーで受け入れをしていただくことになりました。もう1路線は、中型バスをレンタルして、シルバー人材センターから運転手を派遣していただくことになりました。このような運用に対応するため、冬期スクールバス運行管理規程の一部を改正するものがございます。24ページをご覧ください。改正前と改正後がございます。第2条の改正後では、新たにタクシー業者を追加し、また、一般派遣事業所に委託すると表記しております。第4条では、タクシー事業者を追加しております。第5条では、バス会社の部分を削除してございます。以上です。

(須田教育長)

ご質問ございますか。

－質問なし－

それでは、その他に入ります。いじめ、不登校対策についてお願いします。

(門脇北浦教育文化研究所長)

10月のいじめ、不登校の状況について報告いたします。最初にいじめについてです。10月は15件でした。件数は増えておりますが、各校が早期発見に努めている結果だと捉えております。

次に、10月の不登校についてです。小学生2名、中学生15名、計17名となっております。以上、10月のいじめ、不登校の状況の報告であります。

(須田教育長)

次に、教育委員会定例会会議録のホームページ公開についてお願いします。

(藤村教育部長)

9月29日開催の定例会会議録をご覧ください。

－資料により説明－

誤字脱字等ありましたら、私まで教えていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。次に学校適正配置準備室からの報告についてお願いします。

(若松学校適正配置準備室長)

本定例会の前、1時半から仙北市教育委員会第1回協議会を開催しました。その概要を説明させていただきます。案件は二つありました。1点目は市民アンケートの結果について。2点目は学校適正配置方針（素案）についてであります。一つ目のアンケートの結果については、お手元の資料のとおりでございますので、内容説明については割愛させていただきます。二つ目の学校適正配置方針（素案）についてですけれども、今年度内に策定する方針でございます。お手元の資料をたき台としまして協議しました。その結果、基本方針の望ましい学校教育環境のところに、考え方を載せておりますけれども、これに加えて、この度アンケートを行って、市民から望まれている教育方針、子どもに伸ばしたい力といったところを視点として加えるということを確認したところであります。今後の学校適正配置関係の動きについてですが、今月29日に第2回学校適正配置検討委員会を開催する予定です。この会の中でもアンケートの結果報告とともに、学校適正配置方針（素案）についてもご意見をいただきたいと思います。アンケートの結果については、12月定例会市議会の中でも報告したいと思いますし、市民の皆さんには12月中旬の広報誌でもお伝えしたいと思います。また、冬休み前の小学校のPTAに出向いて、アンケートの結果報告とともに、ご意見をいただきたいと思います。以上です。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。その他、草薨総合給食センター所長からお願いします。

(草薨総合給食センター所長)

学校給食調理業務委託について報告させていただきます。給食センターでは今年度末で現在の学校給食調理業務委託が終了となります。次年度以降の委託契約に関してですが、仙北市における一般入札参加資格業者で、学校給食サービス業務で登録している13社を指名して、指名型のプロポーザルの実施を予定しています。今後のスケジュールですが、業者指名は12月中旬、プレゼンテーションは来年1月中旬から下旬に実施したいと考えています。2月上旬の契約に向けて、今準備を進めていることを報告させていただきます。以上です。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。

(橋本委員)

現在委託されている事業主が変わった場合、雇用されている調理員の方々は、別の会社になっても引き続き雇用される条件などはついていますか。

(草薨総合給食センター所長)

仕様の中に、職員の採用条件を仙北市内に有する者としているので、あまり変わらないと思っております。

(須田教育長)

その他ございますか。

(田口委員)

プロポーザルの選考委員について、差し支えない範囲で教えていただけますか。

(草薨総合給食センター所長)

案の段階ですけれども、構成員として、副市長をはじめ、教育長、部長、学校教育関係、給食センターからは、私と栄養教諭、校長会の先生にも入っていただきたいと思っています。後は北浦教育文化研究所にもお願いできればと考えております。

(須田教育長)

その他ございますか。

それでは、令和4年第16回仙北市教育委員会定例会を終わります。ありがとうございました。

(閉会宣言：午後3時20分)